

進路だより

vol.09

秋田県特別支援学校就労促進フェア（県央地区）に参加しました！

12月6日（水）に由利本荘市文化交流館カダーレで開催された秋田県特別支援学校就労促進フェアに高等部1、2年生が参加しました。

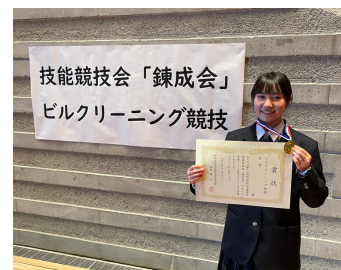
今年度開催された就労促進フェアは、「夢の実現に向けて」をテーマに、就労を目指す生徒の実践発表と技能競技大会「錬成会」、そして作業製品販売が行われました。就労促進フェアは、県北・県央・県南の3地区で、特別支援学校生徒の就労に向けた学習成果を広く周知してもらえるように開催されています。

生徒の実践発表では、本校の「私の応援計画」を中心とした、生徒の「願い」「思い」を実現していくための取り組みを発表しました。技能競技大会「錬成会」では、本校から喫茶サービス部門に2名、ビルクリーニング部門に1名参加しました。3名とも普段のサービス班での学習の成果、そして3週間にわたる練習の成果を十分に発揮しました。ビルクリーニング部門では金賞、そして喫茶サービス部門では銅賞を見事に獲得しています。作業製品販売では、中学部・高等部の作業学習で製作した作業製品を販売しました。製品の質の高さに驚かれるお客様もあり、多くの製品が売れました。

自分たちの日頃の学習成果を多くの方に知ってもらうとともに、他校の発表を聞いたり、他校の生徒と競い合ったり、他校の作業製品を見たりすることで、他校の取り組みを知るよい機会にもなりました。



役割分担をして発表しました！



「錬成会」で見事に受賞！



作業製品販売で、接客も頑張りました！

(進路指導部 今井)

「教えて！校長先生」⑤ 校長先生は就労支援のエキスパートです。

前は、安心した社会生活を支える生活の基本的なことの力を身にここの大切さをお伝えしました。今回は、「そのために、何をしたらいいのか」ということについてお伝えします。例として「挨拶」を取り上げます。この挨拶は、就労場所での同僚や仲間とコミュニケーションをとるための大切なきっかけになるものです。「挨拶なんて簡単だ…」と思われるかもしれませんが、声の大きさ、タイミング、時間や季節に応じてなど難しいものです。また、日々の生活の中で慣れていないと、相手に伝わる／適切な挨拶をすることは難しいものです。生活の基本的な力は、社会参加の直前では身に付けることは難しく、小学部の頃から、お手伝いの場面、他者と交流の機会などの実際的な場面で練習して、普通に使えることが大切です。人によっては、自分に合った方法を見つけることが大切です。社会参加に向けての素地を、小さいころから作っていくことをお勧めします。

(校長 前原)

※「教えて！校長先生」は、vol.12でお伝えしていきます。

保護者からのQ&A

保護者からのQ&Aのコーナーでは、保護者の皆様からの進路に関する御質問にお答えしていきます！右のQRコードを読み込み、気軽に御質問ください。

